

2025年度 環境報告書



東レエンジニアリング西日本株式会社
〒520-0842
滋賀県大津市園山1丁目1番1号
東レ滋賀事業場内
関西技術センター4階

2025年度 東レエンジニアリング西日本(株) 環境報告書

ごあいさつ

東レエンジニアリング西日本株式会社は、エンジニアリング（Engineering）と保全（Maintenance）の両事業（E＋M）を2本柱として事業展開しております。

親会社である東レエンジニアリング株式会社の傘下で、より地域密着性を高め、お客様に寄り添いながら安全で高品質な製品・サービス提供を目指しております。

エンジニアリング事業では、医薬品プラントから電子材料プラントまで広範な分野に対応し、保全事業では、東レ滋賀、愛媛、石川の各工場における長年にわたる定期点検・修繕工事実績から豊富な知見を有し、これをエンジニアリング事業にも反映しお客様の設備安定稼働に貢献しております。

日々著しい社会変化と技術進歩の中、当社は、東レの企業理念の「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」を第一に考え、益々高度化、多様化するお客様のニーズに的確かつタイムリーにお応えすることを使命ととらえ、すべてのステークホルダーの方々にご理解いただき、最適なソリューションを提供できる企業を目指して参りますので、今後ともご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

当社は東レ滋賀事業場内に事業場を置いていることから、環境保全・環境活動について東レ滋賀事業場と同一歩調で取り組みを行っています。

今後とも、当社は天津市環境保全協定の実施に向けて努力を続けて参ります。

環境方針

当社は、東レグループの一員として東レの方針に従い、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを継続していきます。

【環境10原則】

1. 環境保全の最優先
全ての事業活動において法規制・協定を遵守すると共に、生物多様性に配慮し、環境保全を最優先した製造、取り扱い、使用、販売、輸送、廃棄を行います。
2. 地球の温暖化防止
省エネルギーを推進し、エネルギー原単位の低減および二酸化炭素排出量の抑制に努めます。
3. 環境汚染物質の排出ゼロ
有害化学物質および廃棄物の環境への排出ゼロを最終目標に据えて、継続的な削減に取り組みます。
4. より安全な化学物質の採用
取り扱い化学物質の健康および環境への影響について、情報の収集、整備および提供を行うと共に、より安全な物質の採用に努めます。
5. リサイクルの推進
製品および容器包装リサイクル技術を開発し、社会と協調して回収および再商品化を推進します。
6. 環境管理レベルの向上
環境管理技術・技能を向上すると共に自主監査などを実施して、環境管理レベルの維持・向上に努めます。
7. 環境改善技術・製品による社会貢献
新しい技術開発にチャレンジし、環境改善技術と環境負荷の少ない製品を通じて社会に貢献します。
8. 海外事業における環境管理の向上
海外での事業活動においては現地の法規制を遵守することを第一とし、更に東レグループの自主管理基準とあわせた管理を行います。
9. 環境に対する社員の意識向上
環境教育、社会活動および社内広報活動などを通じて、環境問題に対する社員の意識向上を図ります。
10. 環境情報の社会との共有
環境保護に関する取り組み内容および成果は、環境報告書などを通じて地域社会、投資家、マスコミなど広く社会に公表し、相互理解を深めます。

会社概要

会社名：東レエンジニアリング西日本株式会社
設立：1973年9月6日
資本金：80百万円
本社：〒520-0842
滋賀県大津市園山1丁目1番1号
東レ滋賀事業場内 関西技術センター4階
株主：東レエンジニアリング株式会社
東洋電機株式会社
代表者：代表取締役社長 北野 真也
従業員：385人

許可業種：

- ・特定建設業 特-02第18627号
機械器具設置工事業、管工事業、電気工事業
- ・一般建設業 般-02第18627号
消防施設工事業
- ・労働者派遣事業 派25-300442

事業内容：機械・電気・計測・プラント・各種工事の
設計施工管理、設備・機器のメンテナンス、

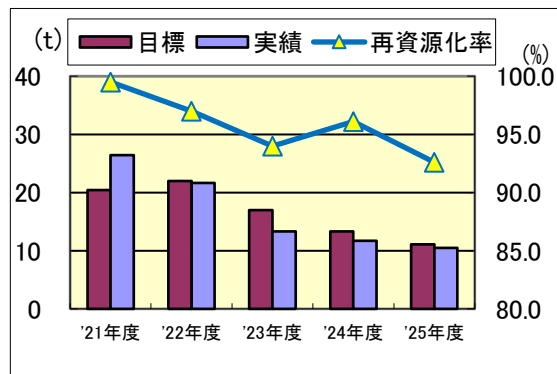
2025年度 環境保全活動

2025年度 東レエンジニアリング西日本（株）環境マネジメントプログラム

番号	環境目標	達成基準 (達成度)	方針・施策 (手段・方法)	目標達成のための必要条件 (要員・設備・資金等)
1	総廃棄物量の削減	目標 11.1 t/年以下 (前年実績: 11.7 t / 13.3 t)	- 削減計画の周知徹底とフォロー - 産廃物の分別の徹底 - 産業廃棄物の取扱いと処分の徹底 - 紙のリサイクル、分別 - 書類電子化による紙の削減	- 産廃物分別の再徹底 - 定期的な報告とフォロー強化 - 機密書類のリサイクル化
2	エネルギー消費量削減 省エネルギー推進	東レエンジニアリング株式会社が定める環境目標に沿って実施	- 削減計画の周知徹底とフォロー - 冷暖房の温度管理徹底 - 不用時、照明オフの徹底	- 定期的な報告とフォロー強化 - 省エネルギー月間の活動推進
3	環境トラブルゼロ	目標 環境トラブル 0件 (前年実績: 0件)	- 教育訓練による意識アップ - 一般排水経路のチェック - 工事保安対策会議の充実 - 改正フロン法による業務用エアコンの管理徹底	- 環境教育の計画的推進 - 環境設備点検の完全実施 - 定期的なフォロー実施
4	建屋周辺の美化推進	2回/年以上の実施	定期的な除草およびごみ拾い	部会別で実施

2025年度環境保全活動結果

1. 総廃棄物総排出量について



目標達成のために、

- ・2025年度削減計画のPR
- ・ゴミ分別の徹底
- ・ペーパーレス化の推進
- ・毎月の活動データの集計、フォロー 他を実施

2025年度実績（目標）

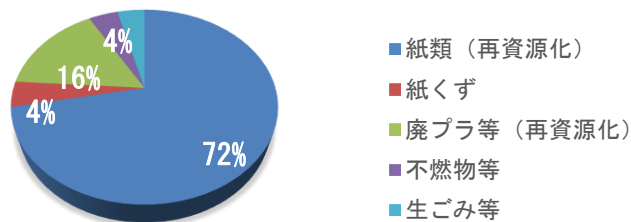
総廃棄物量 10.5t/年（目標:11.1t/年）→目標達成
再資源化率 92.6%

当社の事業形態上、廃棄物の発生量は受注量の増減に大きく左右されます。
2025年度は、2024年度の実績を踏まえて目標値を設定しました。

その結果、廃棄物総量は前年度比で削減でき、目標値も達成することができました。一方で、再資源化率は前年度の96.1%から92.6%へ低下しました。原因を調査したところ、受注増加に伴う不燃物（ゴム類など）の排出量増加や、事務所から発生する生ごみの割合が増加したことが影響していることが判明しました。

2026年度も継続的な事業拡大を目指すとともに、廃棄物の適正な分別・処理を徹底し、社員一人ひとりの環境意識のさらなる向上と定着を図ります。今後も東レグループの方針に沿いながら、廃棄物の削減およびリサイクルの推進に積極的に取り組んでまいります。

廃棄物の内訳



2025年度 紙リサイクル率：91%

2025年度は、機密書類の溶解リサイクルを実施するなど、紙資源の有効活用とリサイクルの推進に取り組みました。

2026年度は、機密書類の適切なシュレッダー処理を徹底するとともに、ペーパーレス化の推進およびリサイクル活動の強化に取り組みます。引き続き、資源の有効利用と廃棄物の削減を図り、環境負荷の低減に努めてまいります。

2. 環境異常件数ゼロ、建屋周辺の美化

(1) 環境に関する苦情件数のゼロ化

重大トラブル：0件（目標：0件）

軽度トラブル：0件（目標：0件）

引き続きトラブルゼロを継続します。

目標達成のために

- ・教育による意識アップ
 - ・排水経路のチェック
 - ・業務用エアコンの管理徹底
- 他を実施しました。

3. 建屋周辺の美化推進

当社社員による建屋周りの除草および国道1号線沿いのゴミ拾いを年2回実施。

※6/19（木）、3/19（木）合計2回

今後も継続して実施し、周辺の美化、環境の維持に努めます。